

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	伊万里市立伊万里小学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 「響け 伊小の会」の活動(地域との連携活動)に取り組んでいることで、地域への貢献度が向上している。 不登校傾向(登校しぶりなど)児童や気になる児童については、全職員で共有し、校内における支援体制の強化を図っていくことを共通理解した。また、関係機関(SC、SSW、市福祉課等)との連携も深めていく。 保護者のアンケートの結果より、「子どもはきちんと朝食をとっているか」、「宿題に目を通してしているか」、「挨拶についての指導を行っているか」等の回答率が昨年度より低かったため、家庭での教育の役割等について育友会と連携しながら啓発していく。 「働き方改革」について、具体策を講じ、よりよい職場づくりを目指す。
------------------	--

2 学校教育目標	<p>『 輝け！ 伊万里小 』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人ひとりが伸びる学校 ○ 笑顔と活気にあふれる学校
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>— 『きらきら伊万里っ子プロジェクト』の推進 — <7つの目標の具現化></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 返事が響く ○ 感謝の言葉があふれる ○ 挨拶が響く ○ 思いやりにあふれる ○ 明るい声と歌声が響く ○ 笑顔があふれる ○ 活気にあふれる
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でのマイプランを共有するとともに、校内研修等での取組の促進を図る。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
	○意欲的に取り組む児童の育成 ○「活用問題ができる力」が身につく授業の実践	○「学校は個に応じた指導をしている」と回答した保護者80%以上 ○12月の佐賀県小・中学校学習状況調査の「記述式」問題において、正答率50%以上	・児童の実態把握と個に応じた指導を充実させるための時間を設定する。 ・条件に沿って授業のまとめをしたり、作文をしたりする活動に各単元1回以上取り組ませる。(例:50字以内で、キーワードを使って、自分の考えを入れて等)							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
●心の教育	●「根っこ教育」の充実 ～「3つのあふれる」を中心に～	○「感謝の言葉や思いやりの言動が増えた」と回答した保護者80%以上 ○「市作成の『いのちの教育指導資料』と『伊万里っ子しぐさ』を積極的に活用している」と肯定的な回答をした教師70%以上	・各学年の企画書の中に具体的方策を明記し実践していく。 ・市作成の「いのちの教育指導資料」と「伊万里っ子しぐさ」を年間指導計画に位置づけ活用を推進する。							・教頭
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめ防止等(いじめの定義、いじめ防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができている」と肯定的に回答した教員80%以上	・いじめの対応についての研修を適宜行い、職員の意識を深めていく。							・人権・同和教育主任
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と肯定的に考える児童95%以上 ○朝食をとって登校する児童95%以上	・生活状況調査、食に関する意識調査を実施し、適宜指導していく。 ・保健だよりを発行する。							・保健部
	○「運動習慣の改善や定着化」	○外遊びをよびかけ、運動場で毎日遊ぶ児童70%以上	・屋休みの外遊びの励行や、職員自身も運動に親しむ意識を向上させるような取組を保健部が中心になって行う。							・保健部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限の遵守	・定時退勤日を設定する。 ・部活動(コーラス部)の休養日を設定する。							・教頭
	○学校行事や業務内容等の改善	○「働き方改革ができている」について、肯定的な回答をした教員70%以上	・校内・校外行事の見直しや通知表(あゆみ)の作成について検討、改善していく。							・教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○「きらきら伊小っ子プロジェクト」の推進	○7つの具体的な目標の実践 ・返事が響く ・挨拶が響く ・明るい声と歌声が響く ・感謝の言葉があふれる ・思いやりがある ・笑顔があふれる ・活気にあふれる	○「返事や挨拶がきちんとできている」と回答した児童90%以上 ○「『ほかほか言葉』や『ありがとう』がよく言えるようになった」と回答した児童80%以上	・7つの目標について、校内や公民館等に掲示する。 ・「ほかほか言葉運動」と「ありがとう運動」を展開する。							・教頭
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○「特別支援に関する専門性が向上した」と肯定的な回答をした教員70%以上	・特別支援に関する研修会を実施する。 ・ケース会議を開催したり、情報共有の機会を設定したりする。							・特別支援コーディネーター
○地域・保護者との連携	○家庭での役割や責任を明確にしておく ○コミュニティ・スクール開校に向けての準備	○家庭での教育についてのアンケート(特に、朝食、家庭学習、あいさつ)の回答が、昨年度結果以上 ○コミュニティ・センター行事や地域行事への参加率が昨年度以上	・家庭学習アンケートを実施し、実態を把握したり、「家庭学習のすすめ」を発行したりする。 ・コミュニティ・センター行事や地域行事への参加を促す。							・校内研部 ・育友会担当者

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---